

## 避難所開設・運営訓練 実施結果報告書

港南 区

防災拠点名	永谷小学校地域防災拠点			実施日	令和7年9月7日（日）							
責任職氏名	金子 拓											
<b>訓練参加者数（単位：人）</b>												
運営委員	41	区役所	5	拠点動員員	3	学校教職員（連絡調整者）	2	学校教職員（連絡調整者除く）				
消防団	4	児童・生徒	0	区民	379	その他	10	消防署	0			
								参加者総数	447 ←自動計算			

## 訓練実施項目

【開設訓練】	【情報拠点訓練】	【物資拠点訓練】	
施設の安全確認手順確認	<input type="radio"/> デジタル移動無線機の使用	<input type="radio"/> 備蓄庫・備蓄品の確認	
避難者受入・受付手順確認 (受付シミュレーション)	情報取扱訓練 (収集・発信手順確認)	物資配布手順確認 (物資配給等)	
体育館・教室 区割り手順確認	<input type="radio"/> 特設公衆電話設置訓練	<input type="radio"/> 物資受け入れ手順確認	
	アマチュア無線	<input type="radio"/> 物資ニーズの把握手順確認	
<b>【避難所運営訓練】</b>			
組立式仮設トイレ設置訓練	男女ニーズの違いに配慮した訓練	横浜型D I G訓練	
ハマッコトイレ設置訓練	企画から女性が参画した訓練	D I G訓練（横浜型DIG訓練以外）	
緊急給水栓・耐震給水栓の確認	外国人の受け入れに配慮した訓練	H U G訓練	
災害用地下給水タンク取扱い	外国人の参加	クロスロード	
受水槽の取扱い	要援護者の受け入れに配慮した訓練	その他（ ）	
炊き出し訓練	障害当事者の参加	<b>【研修（座学のみなど）】</b>	
夜間対応（照明）訓練	妊娠婦・乳幼児の受け入れに配慮した訓練	男女ニーズの違いに関する研修	
避難生活体験宿泊訓練	妊娠婦・乳幼児の参加	外国人の対応に関する研修	
負傷者対応訓練	福祉避難所との連携訓練	<input type="radio"/> 要援護者の対応に関する研修	
津波避難対策訓練	補充的避難所との連携訓練	妊娠婦・乳幼児の対応に関する研修	
蓄電池取扱確認訓練	町の防災組織（自治会等）との連携訓練	<input type="radio"/> ペットに関する研修	
	ペット受け入れ想定訓練	<input type="radio"/> その他（ ）	
	ペットの同行	<input type="radio"/>	

※「男女のニーズの違いに配慮した拠点開設運営スタートキット」の活用有無は問いません。

## 【避難生活スペースの区割り】

具体的な区割り訓練の内容（テントの設置、教室の活用、ペット一時飼育場所などの具体的にどのような訓練をしたかを明記）
体育館のスペースの都合上、区割り訓練は実施できなかつたため、区割りテント、簡易ベット、簡易トイレ（災害時用トイレパック）の使用方法について、実物を使用して設営方法および使用方法について説明した。ペット一時飼育場所についてはグランドにある飼育小屋を活用し、避難所への同行避難は行わない旨の説明をした。

## 【訓練実施にあたって工夫したポイント】

暑さ対策のため、体育館での訓練実施となつたが、200名以上の参加者が予定されていたため、訓練および実演について3つのエリアに分けて実施し、3グループに分けた参加者をローテーションするかたちでそれぞれに参加する形式とした。
--

## 【拠点動員職員への教育内容】

地域防災拠点運営委員の皆さまとの顔合わせ、訓練全体の内容の把握、地域防災拠点および避難所としての学校施設の確認を中心に行つた。
---

【避難所訓練の実施状況 ※写真を添付してください。（P D F可）】



古屋運営委員長のご挨拶



災害対策本部への報告訓練



運営委員の方より区割りテント・簡易ベット  
・簡易トイレの紹介



区役所から防災に関する補助金のご案内



ヘルスマイトさんによる「いざ食」調理実演



「こうなん災害時協働隊」の事業者様によるご挨拶



栗原区長より「こうなん災害時協働隊」  
についてのご説明



栗原区長・古屋委員長・運営委員会の皆さま  
・こうなん災害時協働隊の事業者の皆さま